

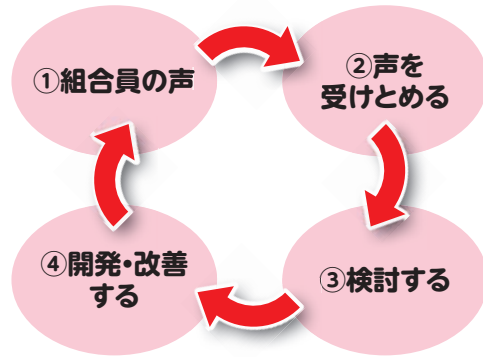
“安全”と“安心”のために
～CO-OP商品の取り組み～

“声”を商品の開発・改善に
活かしています!

2020年度はCO-OP商品60周年



1 組合員の声から 商品開発・改善までの サイクル



2 声を受けとめる



第6期コミュニケーターのみなさん

組合員でもある“くらしと商品コミュニケーター”※
が、生活者目線で、生協に寄せられた組合員の
声を読み込み、「気づき」を見つけ出します。

※日本生協連でモニター経験のある組合員が、実際に使う人の視点
で課題や気づきを発信する役割を担っています。



声の読み込み風景



3 検討する



コープの商品開発の担当者
などが集まり、“くらしと商品
コミュニケーター”の「気づき」を取り入れながら、商品
をどのように開発・改善して
いこうかを話し合います。



4 開発・改善する 例えは… co-op 毎日食パンの改善例

組合員さんの
声 何枚切りなのか
分かりにくい

毎日食パンはどの
種類も同じデザイン
だから買う時に
間違えそう。
分かりやすく
ならないかしら?



以前は3種類とも同じ
赤のパッケージでした。



たしかに…

そこで! コープの担当者とメーカーが検討をすすめ、
袋の色を変えたのです



2018年11月より、4枚切りは赤、5枚切りは緑、6枚切りは青、
と各枚数ごとに袋のデザインの色を変えました。

私たち組合員の
声改善に
つながったんだ!



5 これからも コープは声を 大切にします

2019年度※1 “くらしと商品コミュニケーター”が読み込んだ「声」の
件数は25,139件。その中で、416
件を検討し、70件の改善※2を行いました。

※1 2019年3月21日～
2020年3月20日

※2 前年度からの
検討案件を一部含む

